



岩五だよい



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより
～ 2月号 ～
令和8年 2月6日発行

「逃げる2月」を追いかけてほしい 校長 前本 大智

2月は「逃げる」と言われるほど、あっという間に過ぎていきます。もうすぐイタリアミラノ・コルティナ冬季五輪も開催されます。スピード感あふれる競技に見入っていると、気づけば2月下旬になっています。そして2月末は、どの月よりも短く、多くの中学校では、学年末考査が控えています。この時期の過ごし方が1年間の締めくくりを大きく左右します。中学生のみなさんには、ぜひ“時間を味方にしていく2月”にしてほしいと思います。

3年生にとっては、いよいよ受験・受検の本番が近づいてきました。誰でも、どんな人でも緊張するのは、当然です。それだけ進路に向き合ってきた証です。今、目の前にある自分の課題に丁寧に取り組むことが、当日の手ごたえにつながります。体調管理も含めて、最後まで走り抜いてください。そして、どんな結果であっても、努力し続けた経験は必ずこれからの生き方の支えになります。自分に挑戦し、自分らしい歩みをお願いします。

2年生の鎌倉校外学習では、班員と協力しながら主体的に行動する姿が多く見られました。計画を立て、時間を守り、班行動を行う姿、してもらったことに対しお礼をいう言葉等、人として気持ちのよい行動ができていました。夏の林間学校と比べても、この半年ほどでとても頼もしいと感じることができました。このことは、ぜひこれからの学習にも生かせると思います。3年生になる準備期間である今こそ、基礎学力をしっかりと固める絶好のタイミングです。今年度最後の学年末考査を意識して、日々の積み重ねを大切にしてください。

1年生は、校外学習を成功させました。みなさんの姿は、どこか誇らしげです。自分たちで考え、相談、行動し、博物館や資料館、美術館、動物園や水族館等を自分たちのペースで見学する姿は、中学生らしくなってきました。この成功体験は、学習にも必ず生きてきます。分からぬことをそのままにせず、自分で調べ、友達と教え合う姿勢が、これから成長につながります。1年生最後の学年末考査に向けて、自分のできることを少しづつ広げていければいいと思います。

最後に、基礎学力が大切な理由についての私の思いを述べます。

中学生の時期に身につける基礎学力は、将来の選択肢を広げる“土台”になります。

土台がしっかりとていれば、どんな夢にも挑戦できます。逆に、土台が弱いと、せっかくのチャンスをつかみにくくなってしまいます。

継続することは簡単ではありませんが、「続けた人だけが見える景色」が必ずあります。今の頑張りは、未来の自分への贈り物です。

2月は短く、気を抜くとすぐに過ぎてしまいます。しかし、短いからこそ集中していかなければいけません。時間を大切にし、未来の自分にプレゼントが届くように力を蓄えていきましょう。みなさんそれぞれのさらなる成長を、心より応援しています。

この2月が、みなさんにとって“逃げずに向き合った月”として節目になることを願っています。

